

# 行く (いく)

## Irregular Formation

|         |  |
|---------|--|
| 口語 (する) | Casual Speech and Writing  |
| 行く      | 私がそこへ (に) 行く。 [dictionary form / present tense]<br>私がそこへ (に) 行った。 [past tense]<br>私がそこへ (に) 行こう [future tense] |

\* 「そこへ」でも「そこに」でも良い。

|           |  |
|-----------|--|
| 丁寧語 (します) | Formal Writing and Polite Expressions                    |
| 行きます      | 私がそこへ (に) 行きます。<br>私がそこへ (に) 行きました。<br>私がそこへ (に) 行きましょう。 |

|   |   |
|---|---|
| 尊敬語①  | Honorific Expressions ① ni-naru Form                                    |
| おいでになる (お~になる)<br>dictionary form                       | 王様がそこへ (に) おいでになる。<br>王様がそこへ (に) おいでになった。<br>王様がそこへ (に) おいでになるだろう。      |
| おいでになります (お~になります)<br>formal writing・polite expressions | 王様がそこへ (に) おいでになります。<br>王様がそこへ (に) おいでになりました。<br>王様がそこへ (に) おいでになるでしょう。 |

\* 「ご~なさる」の例も挙げておく。

~~王様がそこへおいでなさる~~  
~~王様がそこへおいでなさった~~  
~~王様がそこへおいでなさるだろう~~

\* 「いらっしゃる」という尊敬語もある。

王様がそこへいらっしゃる。  
王様がそこへいらっしゃった。  
王様がそこへいらっしゃるだろう。

\* 「行く」も「来る」も尊敬語は「おいでになる」と「いらっしゃる」。

|                              |  |
|------------------------------|--|
| <del>尊敬語② (やられる・やられます)</del> | <del>Honorific polite expressions② passive form</del>  |
| <del>行かれる</del>              | <del>王様がそこへ (に) 行かれる。</del><br><del>王様がそこへ (に) 行かれた。</del><br><del>王様がそこへ (に) 行かれるだろう。</del>     |
| <del>行かれます</del>             | <del>王様がそこへ (に) 行かれます。</del><br><del>王様がそこへ (に) 行かれました。</del><br><del>王様がそこへ (に) 行かれるでしょう。</del> |

\* 「行かれる」は「行くことができる (可能)」とも「おいでになる (尊敬)」とも受け取れるので、ダメ。

\* 「おいでになられる」も2重敬語になってしまうのでダメ。

|                                    |  |
|------------------------------------|--|
| 謙讓語                                | Humble Expressions.<br>- o~suru / o~shimasu / o~itashimasu     |
| 参る (する)<br>Dictionary Form         | 私がそこへ (に) 参る。(時代劇)<br>私がそこへ (に) 参った。(時代劇)<br>私がそこへ参るつもりだ。(時代劇) |
| 参ります (します)<br>Polite Expressions ① | 私がそこへ (に) 参ります。<br>私がそこへ (に) 参りました。<br>私がそこへ (に) 参りましょう。       |
| × (いたします)<br>Polite Expressions ②  |  |

\* 「お参りいたします」という表現はない。「お参りする」は神社参拝になる。

\* 「伺 (うかが) う」という謙讓語もある。

私が伺 (うかが) う。「参る」も「伺う」も両方覚えておく必要がある。  
私が伺 (うかが) った。  
私が伺 (うかが) うつもりだ。

私が伺 (うかが) います。

私が伺（うかが）いました。  
私が伺（うかが）いましょう。

# 来る（くる）

## Irregular Formation

|        |  |
|--------|--|
| 口語（する） | Casual Writing and Speech  |
| 来る     | 私がここへ（に）来る。 [dictionary form / present tense]<br>私がここへ（に）来た。 [past tense]<br>私がここへ（に）来よう。 [future tense] |

- \* 「そこへ」でも「そこに」でも良い。
- \* 「私が図書館に来るのは勉強するためです」となったりする。

|          |   |
|----------|---|
| 丁寧語（します） | Formal Writing・Polite Expressions               |
| 来ます      | 私がここへ（に）来ます。<br>私がここへ（に）来ました。<br>私がここへ（に）来ましょう。 |

|  |   |
|--|---|
| 尊敬語①   | Honorific Expressions ① ni-naru Form                              |
| おいでになる（お～になる）<br>Dictionary Form                       | 王様がそこへ（に）おいでになる。<br>王様がそこへ（に）おいでになった。<br>王様がそこへ（に）おいでになるだろう。      |
| おいでになります（お～になります）<br>Formal Writing・Polite Expressions | 王様がそこへ（に）おいでになります。<br>王様がそこへ（に）おいでになりました。<br>王様がそこへ（に）おいでになるでしょう。 |

- \* 「ご（お）～なさる」の例も挙げておく。

~~王様がそこへおいでなさる。~~  
~~王様がそこへおいでなさった。~~  
~~王様がそこへおいでなさるだろう。~~

- \* 「いらっしゃる」という尊敬語もある。

王様がそこへいらっしゃる。  
王様がそこへいらっしゃった。  
王様がそこへいらっしゃるだろう。

- \* 「行く」も「来る」も尊敬語は「おいでになる」と「いらっしゃる」。

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| <del>尊敬語②（やられる・やられます）</del> | <del>Honorific polite expressions ② passive form</del> |
| <del>来られる</del>             | <del>王様がそこへ来られる。</del>                                 |
| <del>来られます</del>            | <del>王様がそこへ来られます。</del>                                |

- \* 「来られる」は「来ることができる」（可能）とも「おいでになる」（尊敬）とも取れるので、ダメ。
- \* 「おいでになられる」も2重敬語になってしまうのでダメ。
- \* 「来る」は不規則なタイプだけど、例外的に「来られる」が使える。

|                                   |  |
|-----------------------------------|--|
| 謙譲語                               | Humble Expressions.<br>- o ~ suru / o ~ shimasu / o ~ itashimasu |
| 参る（する）<br>Dictionary Form         | 私がそこへ（に）参る。（時代劇）<br>私がそこへ（に）参った。（時代劇）<br>私がそこへ参るつもりだ。（時代劇）       |
| 参ります（します）<br>Polite Expressions ① | 私がそこへ（に）参ります。<br>私がそこへ（に）参りました。<br>私がそこへ（に）参りましょう。               |
| ×（いたします）<br>Polite Expressions ②  |  |

- \* 「お参りいたします」という表現はない。「お参りする」は神社参拝になる。
- \* 「行く」も「来る」も謙譲語は「参る」「伺う」。
- \* 「参る」だけが「来る」の謙譲語。「伺（うかが）う」は「行く」でしか使えない。

「行く」も「来る」も謙譲語は「参（まい）る」「伺（うかが）う」です。だから、「そこへ行く」も「ここに来る」も「参る」を使っても「伺う」を使ってもかまいません。

私が明日もそちら（こちら）に参ります。（○）

私が明日もそちら（こちら）に伺います。（○）

=I will go there [come here] tomorrow.

You can use both 参る (mairu) and 伺う (ukagau) for the humble forms of 行く (iku) and 来る (kuru).

「参る」と「伺う」の違いは、「参る」が自分の立場を低める普通の謙譲語であるのに対して、「伺う」は謙譲語であると同時に相手に敬意を表すことができるということです。

The difference between 参る and 伺う is that both lower the speakers' standing, but 伺う can only be used when you want to express your respect to a superior. So 伺う cannot be used when you have no superior in the place where you go.

天気がいいから、散歩に参りましょう。（○）

天気がいいから、散歩に伺いましょう。（×）

= Because the weather is fine, let's go for a walk.